

ITmedia Apex Innovations 2026 春

with AI ～ テクノロジーと現実世界のビジネスの交差点

開催日 : 2026年6月3日(水)～6月4日(木)

一次申込締切 : 2026年締切済み日(火)

最終申込締切 : セッションプラン…2026年4月28日(火)
リストプラン …2026年5月27日(水)

開催概要

名称	ITmedia Apex Innovations 2026 春 with AI ～ テクノロジーと現実世界のビジネスの交差点
開催日	2026年6月3日(水)～6月4日(木)
一次申込締切	2026年締切済み(火)
最終申込締切	セッションプラン…2026年4月28日(火) リストプラン …2026年5月27日(水)
イベント形式	複数社協賛型デジタルイベント
ご協賛プラン	ダイヤモンドプラン 330万円 シルバープラン 150万円 全リストプラン 250万円
申込者数	想定1,200名（イベント全体）
主催・企画 告知・集客	 ITmedia Inc.
運営	アイティメディア株式会社

企画趣旨	「一歩先の未来を覗く」―― ITmediaの読者には、テクノロジーに関する情報を収集しながら、「どの分野に投資すべきか」「どうすれば爆発的な成長につながられるか」と日々頭を悩ませているビジネスパーソンも多いはずです。 そこで本イベントは、「一歩先の未来を覗く」「ビジネス変革に直結するテクノロジーと出会う場所」をコンセプトに掲げ、各編集部が最先端のトピックを持ち寄り、ITmediaの中で最も感度の高い読者に向けたコンテンツをお届けします。 今回のテーマは「with AI」。既存のビジネスにテクノロジーとAIを掛け合わせることで、新たな価値創造に成功しつつある挑戦者たちのストーリーをお届けします。 - 経営層 - テクノロジーで業務やサービスの効率化を進めたいビジネスパーソン - 顧客価値向上を目指したいと考えているビジネスパーソン																
想定参加者層	- ビジネスを変えるイノベーションの最新動向を探りたい - 次の成長領域をいち早くキャッチしたい - 最先端のイノベーターたちの動向を知りたい																
視聴者の課題																	
テーマ	<table><tr><td>テーマ1 リテール with AI</td><td></td></tr><tr><td>テーマ2 コンピューティング最前線</td><td></td></tr><tr><td>テーマ3 宇宙ビジネス with AI</td><td></td></tr><tr><td>開催中止</td><td></td></tr><tr><td>テーマ4 公共インフラ with AI</td><td></td></tr><tr><td>テーマ3 日本のものづくり with AI</td><td></td></tr><tr><td>テーマ4 ロボティクス with AI</td><td></td></tr><tr><td>テーマ5 AIが拓くビジネス共創の最前線</td><td>スポンサーセッション枠は 終売となります (基調講演のみ配信いたします)</td></tr></table>	テーマ1 リテール with AI		テーマ2 コンピューティング最前線		テーマ3 宇宙ビジネス with AI		開催中止		テーマ4 公共インフラ with AI		テーマ3 日本のものづくり with AI		テーマ4 ロボティクス with AI		テーマ5 AIが拓くビジネス共創の最前線	スポンサーセッション枠は 終売となります (基調講演のみ配信いたします)
テーマ1 リテール with AI																	
テーマ2 コンピューティング最前線																	
テーマ3 宇宙ビジネス with AI																	
開催中止																	
テーマ4 公共インフラ with AI																	
テーマ3 日本のものづくり with AI																	
テーマ4 ロボティクス with AI																	
テーマ5 AIが拓くビジネス共創の最前線	スポンサーセッション枠は 終売となります (基調講演のみ配信いたします)																

過去開催実績

ITmedia
Apex Innovations
2026 winter

2026 2/24 [tue] -25 [wed]

ライブ配信
視聴無料
ITmedia NEWS

名称	ITmedia Apex Innovations 2026 冬
開催日	2026年2月24日（火）～2月25日（水） ※3月5日までアーカイブ配信
対象	【AIが拓くビジネス共創の最前線】 AI研究者、機械学習エンジニア、データサイエンティスト、AI技術導入に関心のある企業の研究開発部門・情報システム部門の担当者 【Web3実装のためのロードマップ】 企業のDX推進担当者/責任者、新規事業開発部門の担当者/責任者、経営企画部門の担当者/責任者、情報システム部門（情シス）の担当者/責任者、法務・コンプライアンス部門の担当者、マーケティング・ブランディング部門の担当者
主催	ITmedia NEWS
全申込者数	1138名
視聴者数	910名

基調講演

◆AGI-tate ～アクセルとブレーキを同時に踏むAI最前線のチキンレース

株式会社Arty Intelligence Lab.
代表取締役
橋口 剛 氏

◆もっと「頭がいい人」の生成AIの使い方

デジタルハリウッド大学 教授
橋本 大也 氏
※本講演は過去の再放送です。講演内容は配信当時（2025年10月28日）の情報となります。

◆生成AI×ロボティクス ～ロボットに生成AIを搭載するのではなく、生成AIをロボティクスでリアル世界に召喚する～

株式会社デンソー 研究開発センター・シニアアドバイザー
成迫 剛志 氏
※本講演は過去の再放送です。講演内容は配信当時（2025年10月29日）の情報となります。

◆Web3の概念と技術の現在動向

株式会社野村総合研究所
ICTコンテンツ産業コンサルティング部 エキスパートコンサルタント
山岸 京介 氏

協賛 (※50音順)

- OutSystemsジャパン株式会社
- アステリア株式会社
- アドビ株式会社
- NTT東日本株式会社
- キンドリルジャパン株式会社
- デル・テクノロジーズ株式会社
- 株式会社LayerX
- レノボ・ジャパン合同会社

申込みページ

https://members07.live.itmedia.co.jp/library/OTgwMTk%253D?group=2602_Apex2026w

開催報告書

<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2026-03-30/2d3j9g5>

テーマ1 | リテール with AI

店舗・ECなどリテール業界でも、AIが購買体験を変えようとしています。
本テーマでは、在庫管理、導線設計、体験設計、そして全く新しい店舗のあり方まで、AIを軸にした「購買体験の未来」を描き出します。

このセッションで学べること

店舗導線設計 #顧客行動分析 #在庫最適化 #OMO（Online Merges with Offline） #個客体験

- ・ 実店舗・EC・アプリを跨いで顧客体験をつなぐためのデータ基盤とAI活用の実践例
- ・ 来店から購買までの行動データを活かした、在庫・価格・プロモーションの最適化手法
- ・ 「便利」だけでなく「楽しい・ワクワクする」購買体験を設計するためのUX発想
- ・ ライバシー配慮・規制対応を踏まえた顧客データ活用と信頼構築のポイント

登壇講師案 ※登壇講師はご登壇をお約束するものではありません。

株式会社トライアルカンパニー 執行役員 社長室デジタル戦略課 CDO
兼 システム本部 副本部長
古賀 輝幸 氏

生活協同組合 コープさっぽろ CIO
長谷川 秀樹 氏（聞き手：酒井 真弓 氏）

| テーマ2 | コンピューティング最前線

AIの進化と表裏一体で進行しつつあるのが、GPUや量子コンピューティングに代表される、ハードウェア・ソフトウェア両面での技術革新です。これらの新しいテクノロジーに対し、我々が期待すべきもの、そして備えるべきものはなんでしょうか。本テーマでは、コンピューティングの最前線から、ビジネスの「今」とも繋がる話題をお届けします。

| このセッションで学べること

#量子コンピューティング #AIインフラ #アルゴリズム #次世代セキュリティ

- AIを支える計算基盤の最新トレンド（GPU、専用アクセラレータ、量子計算など）の全体像
- 企業がこれから5年を見据えて、どのようなコンピューティング戦略／投資判断をすべきか
- 技術の進化と同時に求められるセキュリティ、ガバナンス、コンプライアンスへの備え方

参考記事：ITmedia エンタープライズ

[「犯罪者による“収穫”は始まっている」
量子コンピューティング時代に備えて「今」
すべき対策](#)

| 登壇講師案 ※登壇講師はご登壇をお約束するものではありません。

日本アイ・ビー・エム株式会社 テクノロジー事業本部
ソフトウェア・テクニカル・アーキテクト
赤松 猛 氏

株式会社Preferred Networks 代表取締役最高研究責任者
岡野原 大輔 氏

| テーマ3 | 日本のものづくり with AI

AI時代の到来によって、日本の強みである「ものづくり」が見直されつつあります。
現場が積み重ねてきた経験知とAIを掛け合わせた時、どのような価値創造の可能性が広がるのでしょうか。
本テーマでは、フィジカルAI時代の日本の勝ち筋を探ります。

| このセッションで学べること

#製造DX #熟練技能のデジタル化 #サプライチェーン改革 #経営変革 #組織変革

- 日本の「現場力」「職人技」とAIをどう橋渡しすると競争優位になるのか
- 海外製造業との比較から見える、日本のものづくりがAI時代に取りうる勝ち筋
- 現場の抵抗感や不安を乗り越えるチェンジマネジメントの工夫
- 経営/リーダー層の持つべきマインドセットなど

| 登壇講師案（確定）

早稲田大学大学院経営 管理研究科 教授
池上 重輔 氏

テーマ4 | ロボティクス with AI

スポンサーセッション枠は終売となります（基調講演のみ配信いたします）

AIの急速な進化により、次なる技術革新の焦点として「ロボティクス」が注目を集めています。
本テーマでは、AIとロボット技術が紡ぐ産業の未来と、ビジネスのヒントになる刺激的な実践例を紹介します。

このセッションで学べること

#産業ロボット活用 ロボットビジネス最前線 #フィジカルAI #安全対策

- 「AIによってロボットが何をどこまで自律できるのか」の技術的・ビジネス的な現在地
- 実際の現場導入事例（物流倉庫、工場ライン、建設現場など）での効果と課題
- ロボット導入のROIをどう設計・評価する
- かロボットと人間が共に働く現場を設計する際のUX・安全設計のポイントなど

参考記事：ITmedia AI+

[人型ロボット、日本の物流倉庫で働く
山善が実証実験 人型にこだわる理由は？](#)

登壇講師案 ※登壇講師はご登壇をお約束するものではありません。

株式会社山善 ヒューマノイドロボット市場開発担当課長
北野 峰陽 氏

株式会社DFA Robotics 執行役員
山本 雄士 氏

| テーマ5 | AIが拓くビジネス共創の最前線

スポンサーセッション枠は終売となります（基調講演のみ配信いたします）

私たちの創造性や問題解決能力を拡張するビジネスパートナーとして、AIがその存在感を急速に高めています。しかし、AIがさまざまな分野でイノベーションを生み出している一方で、セキュリティやガバナンス面でのリスクから目を逸らすことはできません。本セッションでは、これらの課題に真摯に向き合いながら、最先端のLLM（大規模言語モデル）とマルチモーダルAIがどのように私たちの働き方やビジネスプロセスを変革しているのかを、具体的な事例を交えて詳しく解説します。AIとの共創を最大限に活かし、持続可能なビジネス成長を実現するためのヒントをお届けします。

| キーワード

AIエージェント
マルチモーダルAI
自社専用LLM
AIガバナンス

生産性向上
業務効率化
AI社員

| 登壇講師案 ※登壇講師はご登壇をお約束するものではありません。

株式会社Arty Intelligence Lab. 代表取締役
橋口 剛 氏

※過去講演の再配信を予定（[ITmedia Apex Innovations 2026 冬](#)）

| テーマ | 宇宙ビジネス with AI

衛星データ解析、軌道管理、探査ミッションの最適化など、AIはすでに宇宙開発の中核を担っています。コスト削減とスピードが鍵となる宇宙ビジネスにおいて、AIの導入は新たな競争力の源泉です。本テーマでは、宇宙×AIの融合がもたらす産業革命と、民間プレイヤーによる挑戦の現場を紹介します。

| このセッションで学べること

#宇宙ビジネス最前線 #ミッションクリティカル領域におけるAI活用 #衛星データ解析・観測データ活用

- 宇宙ビジネスにおけるAIやITの役割
- ミッション運用・地上管制におけるAI活用のリアル
- 宇宙産業ならではの制約条件と、その中での設計の勘所
- Web/クラウドの技術スキルを宇宙分野に転用するヒント

開催中止

参考記事：ITmedia エンタープライズ

[自然言語で衛星データを解析できる未来へ
Ridge-iとMicrosoftが生成AI×地球観測の次世代プラットフォーム開発に着手](#)

| 登壇講師案 ※登壇講師はご登壇をお約束するものではありません。

株式会社 Ridge-i 執行役員 プリンシパルエンジニア
畠山 湧 氏

株式会社Synspective プリンシパルクラウドアーキテクト
新井 雅也 氏

| テーマ | 公共インフラ with AI

エネルギー、交通、行政、医療など、人々の生活を支える社会インフラにも、AI活用が広がりつつあります。本テーマでは、災害対応から都市計画まで社会全体のレジリエンスを高めるために、AIやドローンといった先進技術がどう使われているのかを紹介します。

| このセッションで学べること

災害予測 #防災DX #インフラ点検・監視 #ドローン・ロボット活用

- 社会インフラ分野におけるAI活用の最新動向と、実証で紐づけた成功要因
- 災害・インフラ老朽化・人手不足といった社会課題に対して、AI/ドローン/IoTを組み合わせるアプローチ
- 行政・自治体・インフラ企業・スタートアップなど、多様なステークホルダーとの共創の進め方
- 住民の理解・信頼を得るための説明責任や倫理・ガバナンスの考え方

参考記事：BUILT

[3D化と空間情報解析の“下水道DX”でインフラ老朽化に挑む 八潮道路陥没で実績【Liberaware解説】](#)

| 登壇講師案

※登壇講師はご登壇をお約束するものではありません。

株式会社Liberaware 建設DX推進室長
浅田 一央 氏

ベシスコンサルティング 研究開発室 チーフリサーチャー 土木学会
AI・データサイエンス実践研究小委員会 副委員長
阿部 雅人 氏

開催中止

タイムテーブル

時間	枠時間	6月3日(水)	6月4日(木)
13：00～13：30	30分	テーマ1 リテール with AI 基調講演1-1	テーマ3 日本のものづくり 基調講演2-1
13：40～14：10	30分	スポンサーセッション1-1 DAY1-1-S101 (リテール with AI)	スポンサーセッション2-1 DAY2-3-S201 (日本のものづくり)
14：20～14：50	30分	スポンサーセッション1-2 DAY1-1-S102 (リテール with AI)	スポンサーセッション2-2 DAY2-3-S202 (日本のものづくり)
15：00～15：30	30分	テーマ2 コンピューティング最前線 基調講演1-2	テーマ4 ロボティクス wit AI 基調講演2-2
15：40～16：10	30分	スポンサーセッション1-3 DAY1-2-S103 (コンピューティング最前線)	テーマ5 AIが拓くビジネス共創の最前線 基調講演2-3 ※ 過去講演の再配信を予定
16：20～16：50	30分	スポンサーセッション1-4 DAY1-2-S104 (コンピューティング最前線)	

※スポンサーセッション枠はお申込み順で決定いたします

※イベント全体のご協賛状況によって枠移動をお願いする場合がございます



- **ご協賛を決定いただいたお客様**
 - 順次入稿シートをご案内いたしますので、今しばらくお待ちください。
- **仮押さえ有効期限について**
 - ステータスが仮押さえの枠の期限は、お申込みから14日間です。期限を超過すると枠は自動でキャンセルされます。
 - ひとつのイベントにつき、予約者が同時に予約できるのは最大で3枠までとさせていただきます。
4枠目の予約を希望される場合は、すでに予約されている3枠のうち1枠をキャンセルしていただく必要があります。
 - 他の企業様がお申込み、仮押さえをされる可能性があります。必要数だけの仮押さえをお願いいたします。
 - 仮押さえから本予約へのステータス変更はシステム上でおこなうか、お問い合わせフォームよりご連絡ください。
- **キャンセルに関して**
 - キャンセルはお問い合わせフォームまでご連絡ください。担当者がご対応いたします。
 - イベント企画書に掲載のキャンセル規定に基づき、キャンセル料が発生する場合がございます。
- **予約の変更に関して**
 - 予約完了後送られてくる予約受付メールに、URL、予約番号、確認コードの記載がございます。そちらからシステム上でおこなうか、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

ご協賛メニュー

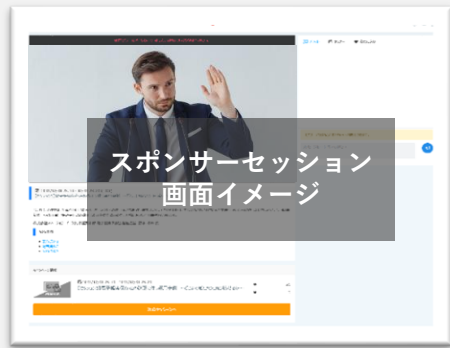
	セッションプラン		リストプラン
	ダイヤモンド	シルバー	全リスト
スポンサーセッション	●	●	—
セッションアンケート	●	●	—
資料配布	●	●	—
視聴者リード（全件納品）	●	—	—
視聴者リード（上限あり） ※アーカイブ開始後2日目までの視聴者リードが納品対象	—	●※ （上限あり）	—
全申込者リスト（全件納品）	●	—	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●
事前アンケート結果	●	●	●
開催報告書	●	●	●
リスト件数（すべてのリスト合計数）	1,200件想定	150件想定	1,200件想定
備考	※リスト件数は想定数です	※200件上限	※リスト件数は想定数です
	※申込締切日までの協賛状況によって、プランは変更になる可能性があります		
料金（すべて税別・グロス価格）	¥3,300,000-	¥1,500,000-	¥2,500,000-

※シルバープランの視聴者リードに関して：
視聴者リードはアーカイブ開始後2日目までが納品対象となります。納品済みのリードは、アーカイブ終了日まで期間中のアクション（視聴・アンケート回答等）に応じて随時更新されます。
※視聴者リードには、セッションアンケート回答や資料閲覧のみ行ったリードも含まれます。

ご協賛メニュー詳細

| スポンサーセッション

- 製品やサービスをPRできるスポンサーセッション枠をご利用可能



| セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施。
- 単一回答・複数回答・自由回答の3種類を組み合わせる自由設定可能。
- アンケートボタンを押すと、ポップアップで表示。

※セッションアンケートの実施はLive配信時のみとなります

| 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料の配布が可能。
- 配布点数：ご講演資料+3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能。

| 視聴者リード

- 貴社セッション視聴者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：会社名・部署名・役職・電話番号・メールアドレスなどの名刺情報

※DL可能

| 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全申込者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・製品選定における関与など

| スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲載、貴社サイトへのリンクを設定可能。
- 講演間に表示する幕間スライドに貴社のロゴを掲載。

※イベントによって幕間スライドでのロゴ掲載を行わない場合がございます。

| 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など（BANT情報）等も合わせてご提供。

※アイティメディア側で設定のため個別設定不可。

| 開催報告書

- アイティメディアで参加者へアンケートを実施 集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供。
- 個人情報は含まない集計データでのご提供。

※画像はイメージです。

参加意欲が高まる 開催2週間前～開催直前に注力

01

申込者数目標の達成

92.5%

80企画 中 74企画が会期内に達成

02

申込者数達成率

122.4%

実申込者数 ÷ 想定申込者数
の中央値

03

参加率（歩留まり）

82.2%

参加者数 ÷ 実申込者数の中央値

貴社のスポンサーセッション動画は、TechLIVE by ITmediaにも掲載いたします

① デジタルイベント開催

スポンサーセッション動画



イベント終了後
TechLIVEへ転載

② TechLIVEへの掲載

TechLIVE by ITmedia



掲載動画イメージはこちら

③ ITmediaの各媒体から誘導を実施

④ 視聴者リードのご提供も可能

TechLIVE
by ITmedia

<https://techlive.itmedia.co.jp/>

「今を動かすテクノロジー」を 深掘りする動画プラットフォーム



専門編集者による番組コンテンツ企画



テクノロジーの現場を映像で分かりやすく深掘り



視聴者リードの獲得が可能

[詳細はこちら](#)

※画像はイメージです。

スポンサーセッション動画のTechLIVE掲載について 詳細

- **TechLIVEへの講演動画掲載について**
 - 掲載をご希望されない場合は、イベント協賛時に、事務局担当者までご連絡ください。
 - ご連絡がない場合は、下記の内容に従い掲載いたします。
- **掲載対象動画**
 - 当社主催デジタルイベントでご講演いただいたスポンサーセッション動画（産業DXパートナーシップ系は対象外になります）
- **掲載開始時期**
 - ご協賛いただくイベントが終了し次第順次（掲載タイミングにつきましては、当社に一任いただきます）
- **掲載費用**
 - 無料（掲載にあたり、追加費用は発生いたしません）
- **動画の取り扱い**
 - 原則、イベント開催時に配信した動画をそのまま掲載いたします（動画本編の編集等はいたしません）
 - 一部の動画では視聴者に分かりやすい動画になるよう、冒頭にダイジェストムービーや、編集部による解説動画等を挿入する場合がございます。（対応の有無および内容は当社に一任いただきます）
 - **動画タイトル・紹介文・サムネイル画像について**
 - 動画タイトルや概要文については、貴社講演の情報をもとに、視聴者に伝わりやすいよう当社で変更する場合がございます。
 - 動画のサムネイル画像については当社に一任いただきます。
 - 掲載した動画は、基本的に期間制限なくTechLIVE上に掲載されますが、取り下げをご希望の場合は申請いただくことで掲載を終了することが可能です。
- **動画の視聴について**
 - オープニングはどなたでも視聴可能ですが、最後まで視聴するにはアイティメディアID会員に登録が必要です。
- **視聴者のリード情報について**
 - 視聴者データ（リード情報）のご提供はございません。
 - リード情報の納品をご希望の場合は、別途商品をご用意しておりますので営業担当にお問い合わせください。

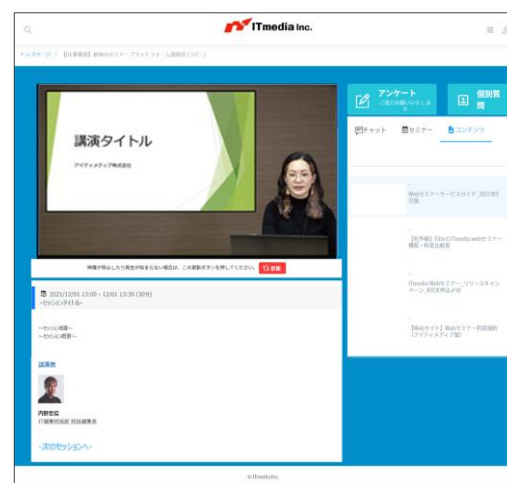
セットプランのご紹介

イベントで配信したセッション動画を二次展開し、さらなるリード獲得にご活用いただけます

本イベント セッション登壇付きプラン

スポンサーセッションを通じて、
当該テーマで情報収集中の読者に対し
貴社メッセージを訴求いただけます。

▼スポンサーセッション配信画面イメージ



リード提供数 **1,200件想定**

※ プラチナプランの場合
※ イベント、プランによって変動します

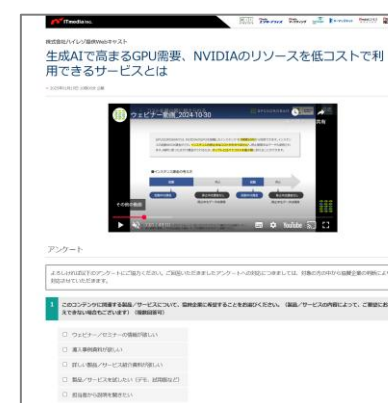
オプションメニュー セッション動画活用リード獲得

本イベントご講演動画1本＋貴社ご所有の関連コンテンツ1～2本を
弊社メディア内に掲載し、閲覧者のリードを提供します。
(マスク化して設置し、閲覧時に個人情報提供の許諾を取得)

▼コンテンツ紹介画面



▼コンテンツ閲覧画面
(動画の場合)



※ セッション動画活用コンテンツの掲載面は、
内容に合わせて「TechTargetジャパン」
「TechFactory」のいずれか、または両方
とさせていただきます。

※ コンテンツへの誘導方法はアイティメディアにご
一任ください
(メールマガジン／電話／メディア内誘導を適宜
実施します)

※ 詳細は[こちら](#)をご覧ください。

リード提供数 **+100件**

※ ユーザー企業限定

料金 (税別・グロス価格)

¥4,300,000-

※画像はイメージです。

オプションメニュー

申込締切日

| 貴社セッションmp4動画納品

閉幕3か月後まで

- セッションありのプランにお申込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式。
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

| セッション収録サポート

開催日1.5カ月前まで

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供。
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます。

料金 **¥200,000～**

| リード情報×主催アンケート回答情報付与

開催日1週間前まで

- 視聴者の課題感などを収集している主催者アンケートの回答情報を、納品リードに付与して納品。
- リードフォロー時の参考情報としてお役立てください。
- 開催日1週間前までのお申込み必須。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2>料金 **¥200,000～**

| 納品リストへのABMデータ追加

開催日1週間前まで

- アイティメディアでのコンテンツ閲覧状況を分析し、各企業の導入検討状況を推測できるABMデータを納品リストに追加するサービス。
- ABMデータによって企業の意図を可視化し、効率的な案件発掘が可能。
- データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品。

詳細：go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn料金 **¥200,000**

| リード カスタム納品

開催3営業日前まで

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品。
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品。
- お申込みまでに納品条件の確定が必要です。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

料金はリード件数によって変動

| ブランディング施策

開催2か月前まで

- イベント告知サイトに貴社情報を追加で掲載し、ブランディング施策として活用可能。
- 通常より大きく会社ロゴの表示。
- ショート動画の埋め込み。
- フローティングバナー情報掲載。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>料金 **¥500,000**

| アフターフォローセミナー

開催日1.5カ月前まで

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>料金 **¥2,500,000**

| テレマーケティング

開催日3週間前まで

- イベント終了後、獲得したリードに対して所定の件数分コールを実施。
- 効果的に実施することで高い反響率と顧客獲得効果が望める。
- 最低実施件数：50件～
- 期間：3～4週間（250件の場合）
- 1000件以上は不可

料金 **¥75,000～**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

オプションメニュー

申込締切日

| セッション動画活用リード獲得

閉幕2か月後まで

- 講演動画や資料をTechTargetジャパン／キーマンズネットに転載するサービス。
- セミナー後も継続的な【属性&件数を保証したリード獲得】が可能。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-14/2czswgv>料金 **¥300,000～**

| レポート記事配信（ターゲットヘブッシュ型で配信）

記事配信希望日の6週間前まで

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。（アーカイブ掲載あり）
- 業種、職種、企業名など狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy>

タイアップ プッシュ ターゲティング & ABM 15,000通～

料金 **¥1,000,000～**

| CM動画放映スポンサープラン

開催日3週間前まで

- 各基調講演(主催者セッション)開始前の待機時間に、視聴者に対して貴社支給動画を放映。
- イベント視聴者に対して、映像と音声を活用して自社サービスを繰り返し訴求することで製品やサービスの認知度向上につながります。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-08-05/2d122lq>料金 **¥300,000**| パネルディスカッションパッケージ
コンテンツ二次利用

開催日3週間前まで

- 弊社にお任せいただいたパネルディスカッションパッケージで作成したコンテンツを主催イベントに再利用。
- 通常30分間のスポンサーセッション枠を2枠ご提供。過去制作した60分間のコンテンツをそのままお届け。
- 新規でコンテンツ制作を行わずに更なるリード獲得が可能。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-17/2czbqt5>

※価格・割引率をご協賛イベントによって変動いたします。

料金 **¥3,000,000**

| レポート記事掲載（広範に読者を記事へ誘導）

掲載希望日の1.5か月前まで

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作
- DX関心層が多く閲覧しているメディア横断でタイアップ記事へ誘導
- 記事掲載メディア：イベント主催メディア
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsty>

DXメディア横断 PV保証タイアップ 4,000PV保証

料金 **¥1,200,000**

| カスタムパーミッション掲載

開催3営業日前まで

- 貴社の規定に合わせたパーミッションを掲載
- 下記の3パターンでカスタムが可能
 1. チェックボックス設置（1個/社）
 2. パーミッションテキスト追加
 3. プライバシーポリシーURL併記（最大5本）
- 納品リストのカスタムは別途オプション
- 主催者が提示するパーミッション文言は変更不可

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-06-02/2d2cgrk>料金 **¥50,000～**

| セッションパンフレット作成（IT・ビジネス関連）

開催日1週間前まで

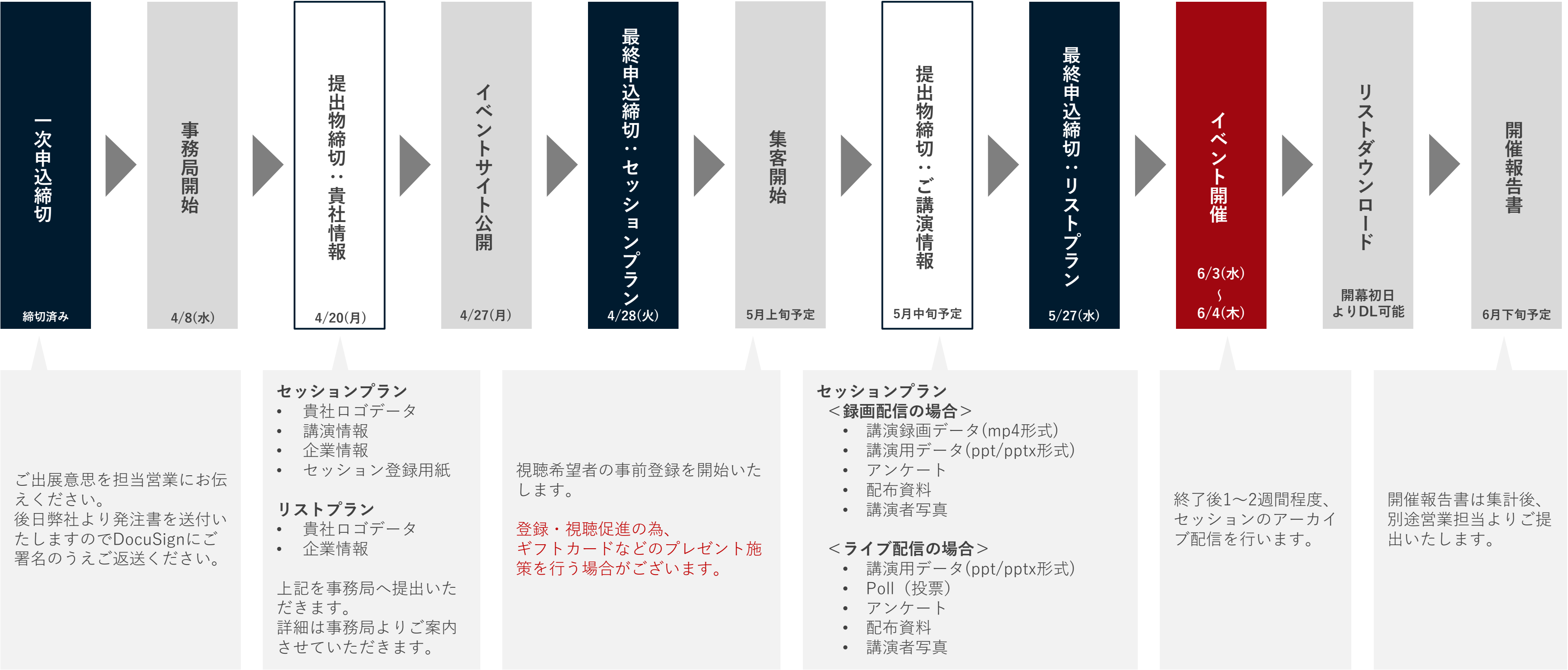
- 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ（PDF/x）を納品
- 取材内容はタイアップ記事広告としてメディアにも掲載（2,000PV保証）
- 読者への認知獲得も狙える
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvn>DXメディア横断 PV保証タイアップ 2,000PV保証
パンフレット制作（PDF/x納品）料金 **¥1,200,000**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

お申し込みからの流れ

確定したスケジュールはイベント事務局よりご連絡いたします。



予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする場合がございます。あらかじめご了承ください。

ご留意事項

キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書取り交わし後のキャンセル
登録用紙提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル：契約金額の50%
開催日40日以内のキャンセル：契約金額の100%

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

消費税につきまして

企画書のプランは税別表記のため、消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク4：機材障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する場合がございます。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク5：視聴側における障害

- 総視聴者数に対し、視聴不良報告数が10%未満の場合
視聴者側の環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。
- 総視聴者数に対し、視聴不良報告が10件単位で確認された場合
配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。



デジタルイベントに関するお問い合わせ

アイティメディア株式会社 営業本部

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル（受付：13F）

<https://promotion.itmedia.co.jp/contact>

デジタルイベントの最新情報は[こちら](#)